

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／不動産投信	
信託期間	無期限	
運用方針	<p>①主として日本の取引所に上場しているリート（不動産投資信託証券）に投資します。</p> <p>②東証REIT指数（配当込み）を運用上のベンチマークとし、中長期的にこれを上回る運用成果を目指します。</p> <p>③当社独自の割安度分析に基づき、価格が相対的に割安となっている銘柄を中心に投資します。</p>	
主要投資対象	SOMPO Jリートファンド	損保ジャパンJ-REITマザーファンド受益証券
	損保ジャパンJ-REITマザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
主な組入制限	SOMPO Jリートファンド	マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を超えないものとします。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。
	損保ジャパンJ-REITマザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を超えないものとします。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

# SOMPO Jリートファンド 〈愛称〉 リート名人

第4期（決算日 2020年11月5日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SOMPO Jリートファンド」は、このたび第4期の決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432  
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率			ベンチマーク		投資信託 組入比率	純資産額
		税金 分配	み 騰	期 落	東証REIT指数 (配当込み)	騰落率		
(設定日)	円							百万円
2016年10月25日	10,000	—	—	—	3,269.32	—	—	0.1
1期(2017年11月6日)	9,352	0	△	6.5	3,082.26	△	97.0	1.4
2期(2018年11月5日)	10,389	0		11.1	3,487.01		97.4	4
3期(2019年11月5日)	13,791	0		32.7	4,650.63		96.2	72
4期(2020年11月5日)	10,816	0	△	21.6	3,653.41	△	97.1	22

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額は1万口当たり(以下同じ)。

(注3) 投資信託証券組入比率は、マザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

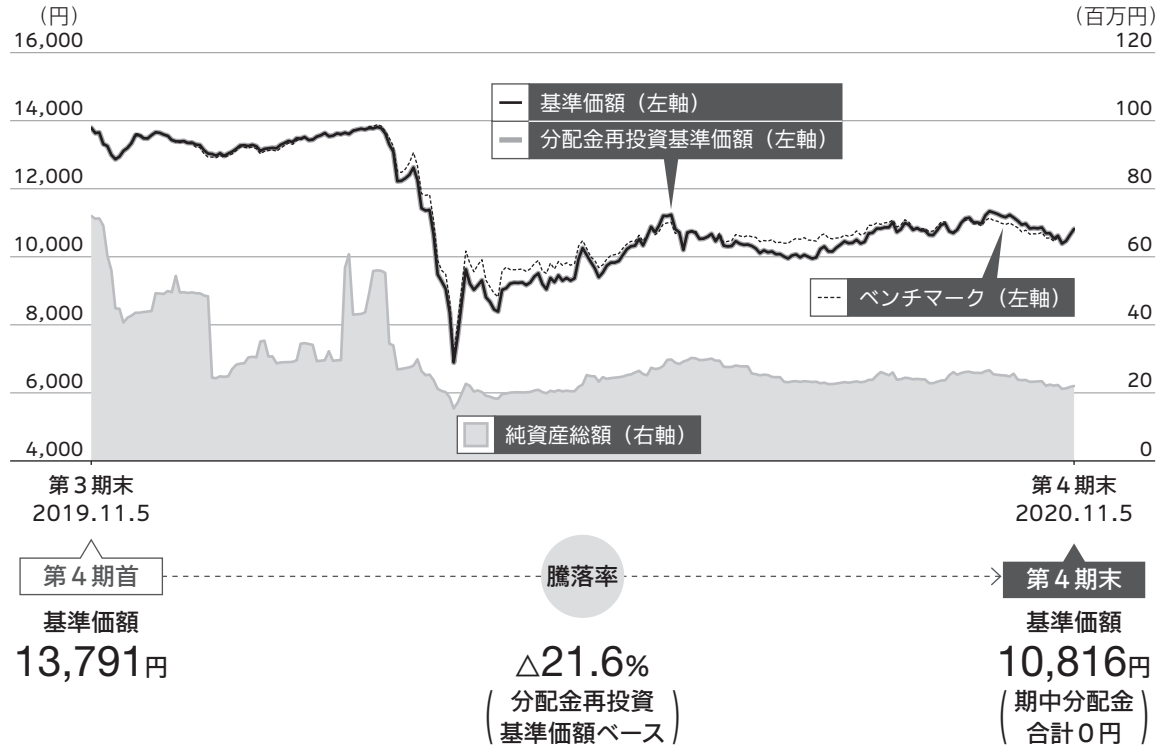
年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託 組入比率
	騰落率	騰落率	東証REIT指数 (配当込み)	騰落率	
(期首)	円	%			%
2019年11月5日	13,791	—	4,650.63	—	96.2
11月末	13,592	△	4,584.30	△	97.5
12月末	13,256	△	4,450.34	△	97.6
2020年1月末	13,637	△	4,608.85	△	97.3
2月末	12,222	△	4,218.40	△	114.9
3月末	9,308	△	3,343.59	△	99.9
4月末	9,381	△	3,313.25	△	96.7
5月末	10,521	△	3,586.37	△	97.5
6月末	10,305	△	3,525.99	△	95.9
7月末	9,948	△	3,535.10	△	97.1
8月末	11,014	△	3,735.15	△	96.6
9月末	11,010	△	3,698.94	△	96.8
10月末	10,388	△	3,512.43	△	99.5
(期末)					
2020年11月5日	10,816	△	3,653.41	△	97.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 投資信託証券組入比率は、マザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

## 運用経過

### ● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（東証REIT指数（配当込み））の推移は、2019年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### SOMPO Jリートファンド

当期は、投資している損保ジャパンJ-REITマザーファンドの基準価額が下落したことから、当ファンドの基準価額は下落しました。

### 損保ジャパンJ-REITマザーファンド

期中の騰落率は-19.5%となりました。

J-REIT市場が下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド    マザーファンド

## ● 投資環境

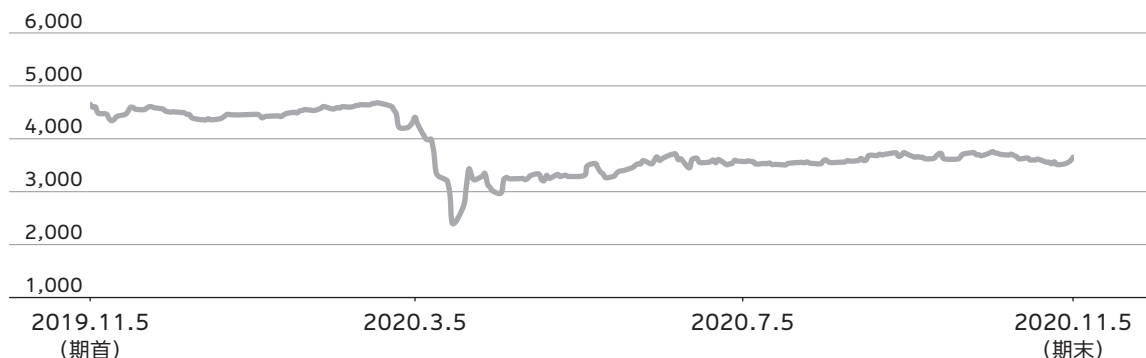
当期のJ－REIT市場は下落しました。

期初は、堅調な不動産市況の下、長期金利との相対的な利回りの高さを背景にJ－REIT市場は底堅く推移しました。

2020年の年明け以降、中国をはじめとして世界各国で新型コロナウイルスの感染拡大が進むにつれ、ホテルや商業施設を保有するリートを中心に業績悪化懸念が高まったことに加え、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、売りが売りを呼ぶ展開となり、J－REIT市場は急落しました。

その後、割安感から買いが入り、一時的に反発しましたが、感染拡大への警戒感から本格的な回復局面とはならず、ほぼ横ばいで推移し、期末を迎えました。

東証REIT指数（配当込み）の推移



(出所：Bloomberg)

※ 東証REIT指数とは東京証券取引所に上場しているREIT全銘柄を対象にした時価総額加重平均の指数で、終値ベースの指数値（配当込みの指数値を含みます。）が公表されています。なお、東証REIT指数は株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など東証REIT指数に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通して損保ジャパンJ-REITマザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

### 損保ジャパンJ-REITマザーファンド

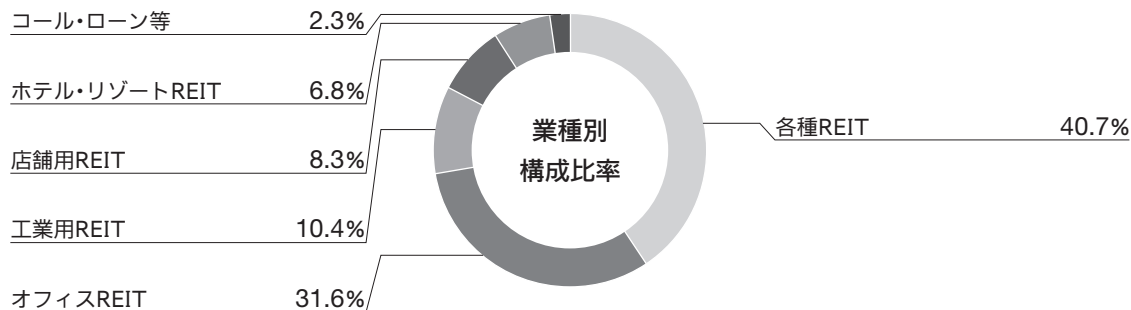
期を通してREITの組入比率は概ね高位に維持しました。期末のREIT組入比率は97.7%です。

#### ・主な購入銘柄

割安度の高い銘柄を中心に購入しました。具体的には、日本プライムリアルティ投資法人、野村不動産マスターファンド投資法人などです。

#### ・主な売却銘柄

割安度の低下した銘柄を中心に売却しました。具体的には、伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人、三井不動産ロジスティクスパーク投資法人などです。

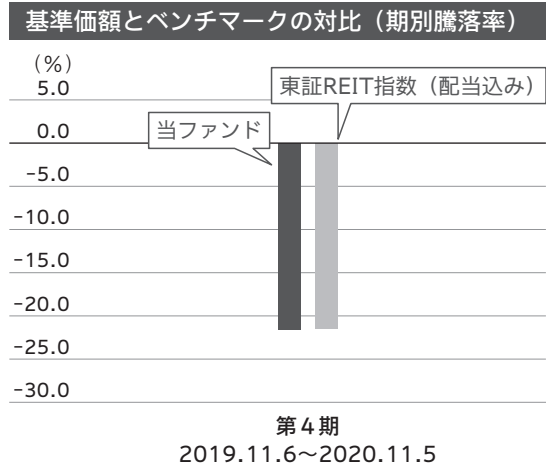


注1. 比率は、第4期末における純資産総額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース、信託報酬控除後）は、ベンチマーク（東証REIT指数（配当込み））の騰落率（-21.4%）を0.1%下回りました。期を通じて「損保ジャパンJ-REITマザーファンド」を高位に組み入れていましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異についてご説明します。



### 損保ジャパンJ-REITマザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、東証REIT指数（配当込み）の騰落率（-21.4%）を2.0%上回りました。

日本プロロジスリート投資法人や産業ファンド投資法人のアンダーウェイトなどがマイナス要因となる一方、伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人やSOSILA物流リート投資法人のオーバーウェイトなどがプラス要因となりました。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第4期 2019.11.6~2020.11.5
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,960

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。



## ● 今後の運用方針

### SOMPO Jリートファンド

今後の運用におきましても、損保ジャパンJ-REITマザーファンド受益証券への投資を通じて、安定的な配当収入の確保と、中長期的な信託財産の成長を目指します。

### 損保ジャパンJ-REITマザーファンド

当ファンドは主として、わが国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（REIT）を投資対象とし、相対的に割安な銘柄を中心にポートフォリオを構築することで、安定的な配当収入の確保と、中長期的な信託財産の成長を目指します。

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	第4期 2019.11.6~2020.11.5		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	102円	0.913%	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率(年率)× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,215円です。
( 投信会社 )	( 49 )	( 0.440 )	ファンドの運用の対価
( 販売会社 )	( 49 )	( 0.440 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
( 受託会社 )	( 4 )	( 0.033 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	24	0.218	(b)売買委託手数料= $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 投資信託証券 )	( 24 )	( 0.218 )	
(c) その他費用	2	0.013	(c)その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
( 監査費用 )	( 1 )	( 0.012 )	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
( その他 )	( 0 )	( 0.001 )	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>128</b>	<b>1.144</b>	

注1. 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

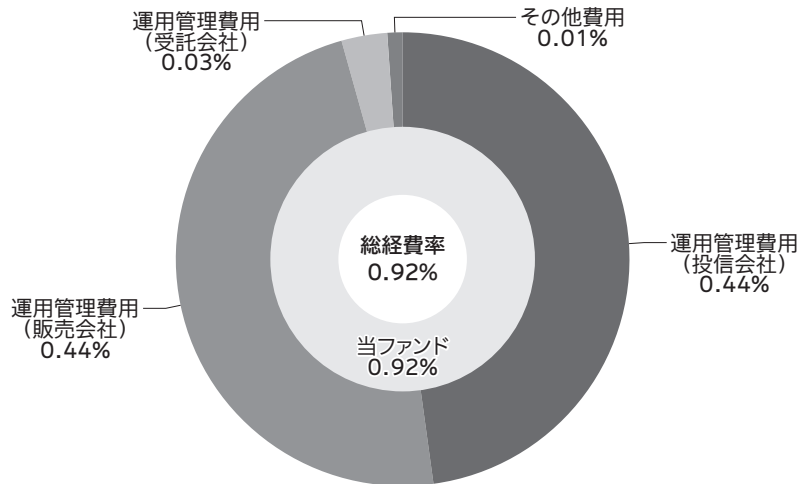
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.92%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年11月6日～2020年11月5日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
損保ジャパンJ-REITマザーファンド	千口 39,409	千円 99,075	千口 55,716	千円 139,027

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年11月6日～2020年11月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年11月5日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
損保ジャパンJ-REITマザーファンド	千口 26,346	千口 10,040	千円 21,888

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2020年11月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
損保ジャパンJ-REITマザーファンド	千円 21,888	% 98.5
コール・ローン等、その他	330	1.5
投資信託財産総額	22,218	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月5日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	22,218,267
コール・ローン等	330,257
損保ジャパンJ-REITマザーファンド(評価額)	21,888,010
(B) 負債	193,213
未払解約金	78,137
未払信託報酬	113,290
その他未払費用	1,786
(C) 純資産総額(A-B)	22,025,054
元本	20,364,196
次期繰越損益金	1,660,858
(D) 受益権総口数	20,364,196口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,816円

(注1) 信託財産に係る期首元本額52,223,851円、期中追加設定元本額97,675,309円、期中一部解約元本額129,534,964円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額 1.0816円

## ○損益の状況 (2019年11月6日～2020年11月5日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 267
支払利息	△ 267
(B) 有価証券売買損益	△1,356,254
売買益	2,769,873
売買損	△4,126,127
(C) 信託報酬等	△ 271,724
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,628,245
(E) 前期繰越損益金	70,058
(F) 追加信託差損益金	3,219,045
(配当等相当額)	( 3,024,679)
(売買損益相当額)	( 194,366)
(G) 計(D+E+F)	1,660,858
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,660,858
追加信託差損益金	3,219,045
(配当等相当額)	( 3,253,567)
(売買損益相当額)	(△ 34,522)
分配準備積立金	738,931
繰越損益金	△2,297,118

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程 (2019年11月6日～2020年11月5日) は以下の通りです。

項 目	2019年11月6日～ 2020年11月5日
a. 配当等収益(費用控除後)	668,873円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	3,253,567円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	70,058円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	3,992,498円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,960円
g. 分配金	0円

## ○お知らせ

- ・2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました(2020年4月1日)。

# 損保ジャパンJ-REITマザーファンド

## 運用報告書

第13期（決算日 2020年5月21日）

＜計算期間 2019年5月22日～2020年5月21日＞

損保ジャパンJ-REITマザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	①わが国の金融商品取引所に上場している不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目指します。 ②東証REIT指数（配当込み）をベンチマークとし、同インデックスを上回る運用成果を目指します。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所に上場している不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
主な組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を超えないものとします。 ③株式への直接投資は行いません。 ④外貨建資産への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率	純資産額
	期騰落	中率	東証REIT指数（配当込み）	期騰落		
	円	%		%	%	百万円
9期(2016年5月23日)	19,409	7.3	3,399.64	4.7	91.9	5,673
10期(2017年5月22日)	19,053	△1.8	3,262.31	△4.0	98.7	2,593
11期(2018年5月21日)	19,821	4.0	3,399.23	4.2	98.8	1,910
12期(2019年5月21日)	22,732	14.7	3,929.49	15.6	98.1	2,061
13期(2020年5月21日)	19,769	△13.0	3,393.84	△13.6	97.8	1,438

(注1) 基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

(注2) 東証REIT指数<sup>®</sup>は、東京証券取引所に上場しているREIT全銘柄を対象にした時価総額加重平均の指数です。

※東証REIT指数は、東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、数値の公表、利用などその他一切の権利は東京証券取引所に帰属します（以下同じ）。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

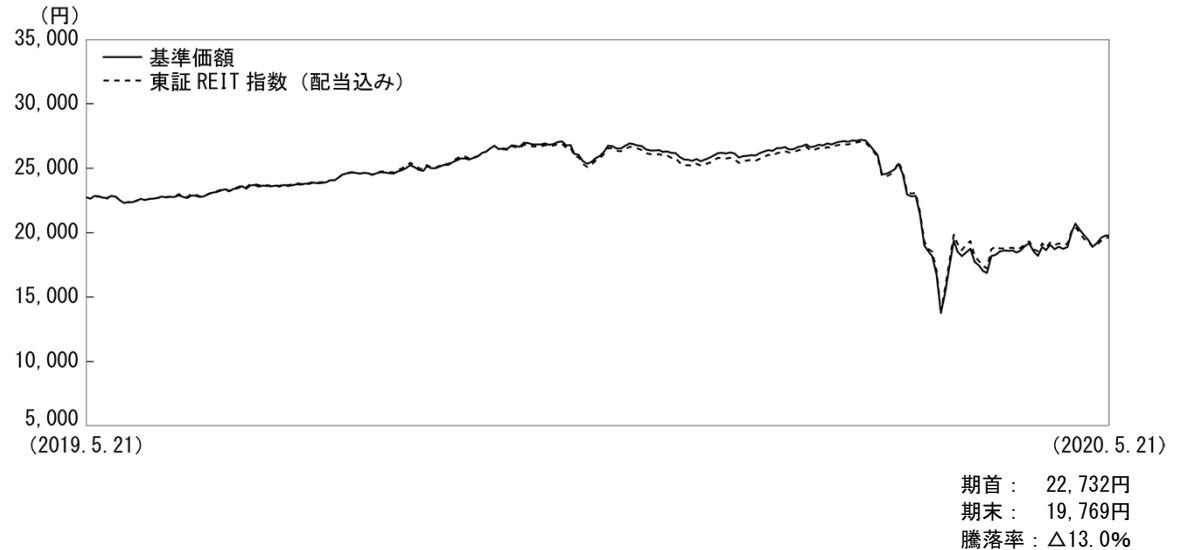
年 月 日	基 準	価 額		ベ ン チ 東証REIT指数 (配当込み)	マ ー ク 騰 落 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2019年5月21日	円		%		%	%
	22,732	—		3,929.49	—	98.1
5月末	22,496	△1.0		3,889.57	△1.0	98.9
6月末	22,812	0.4		3,947.76	0.5	98.9
7月末	23,743	4.4		4,120.33	4.9	98.2
8月末	24,670	8.5		4,275.94	8.8	98.1
9月末	25,756	13.3		4,477.77	14.0	98.0
10月末	26,860	18.2		4,625.77	17.7	97.1
11月末	26,775	17.8		4,584.30	16.7	98.5
12月末	26,147	15.0		4,450.34	13.3	98.6
2020年1月末	26,851	18.1		4,608.85	17.3	98.5
2月末	24,528	7.9		4,218.40	7.4	97.6
3月末	18,735	△17.6		3,343.59	△14.9	97.2
4月末	18,896	△16.9		3,313.25	△15.7	97.9
(期 末) 2020年5月21日						
	19,769	△13.0		3,393.84	△13.6	97.8

(注) 騰落率は期首比。

## ○運用経過

(2019年5月22日～2020年5月21日)

## ■基準価額の推移



・ベンチマーク（東証REIT指数（配当込み））の推移は、2019年5月21日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

## ■基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は-13.0%となりました。

J-REIT市場が下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。



## ■投資環境

当期のJ-REIT市場は下落しました。

期初は、堅調な不動産市況の下、長期金利との相対的な利回りの高さを背景にJ-REITが買われ、上昇基調となりました。その後は、長期金利の上昇に伴い下落する場面もありましたが、底堅い値動きとなりました。

2020年の年明け以降、中国をはじめとして日米欧で新型コロナウイルスの感染拡大が進むにつれ、ホテルや商業施設を保有するREITを中心に業績悪化懸念が高まったことに加え、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、売りが売りを呼ぶ展開となり、J-REIT市場は急落しました。

その後、割安感から買いが入り、一時的に反発しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感から本格的な回復局面とはならず、ほぼ横ばいで推移し、期末を迎えました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

期を通してREITの組入比率は概ね高位に維持しました。期末のREIT組入比率は97.8%です。

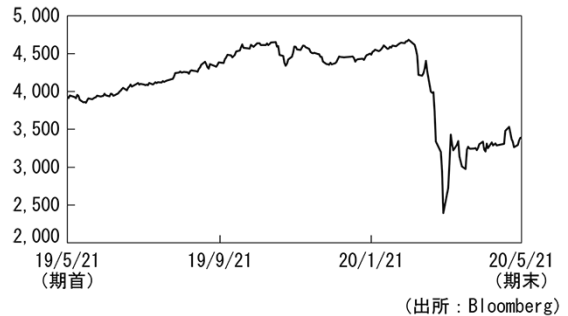
### ・主な購入銘柄

割安度の高い銘柄を中心に購入しました。具体的には、ジャパン・ホテル・リート投資法人、オリックス不動産投資法人、ユナイテッド・アーバン投資法人などです。

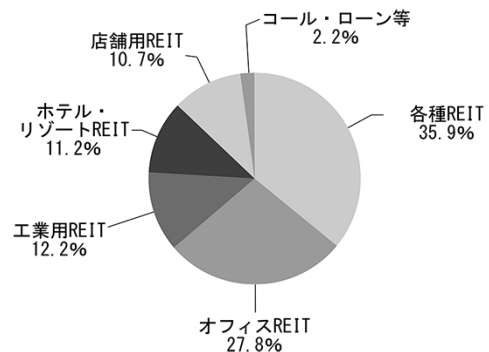
### ・主な売却銘柄

割安度の低下した銘柄を中心に売却しました。具体的には、産業ファンド投資法人、三井不動産ロジスティクスパーク投資法人、GLP投資法人などです。

東証REIT指数（配当込み）の推移



業種別構成比率



(注1) 比率は、第13期末における純資産総額に対する割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの騰落率は、ベンチマーク（東証REIT指数（配当込み））の騰落率（-13.6%）を0.6%上回りました。

伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人、SOSILA物流リート投資法人のオーバーウェイトなどがプラス要因となりました。

## ■今後の運用方針

当ファンドは主として、わが国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（REIT）を投資対象とし、相対的に割安な銘柄を中心にポートフォリオを構築することで、安定的な配当収入の確保と、中長期的な信託財産の成長を目指します。

## ○1万口当たりの費用明細

（2019年5月22日～2020年5月21日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 54 (54)	% 0.225 (0.225)	(a) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 ( 0 )	0.000 (0.000)	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	54	0.225	
期中の平均基準価額は24,022円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2019年5月22日～2020年5月21日)

## 投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	口	千円	口	千円
SOSILA物流リート投資法人	824	94,799	627	73,155
MCUBS MIDCITY	357	33,099	206	20,750
森ヒルズリート投資法人	194	29,283	456	74,511
産業ファンド投資法人	87	12,643	1,040	164,116
アドバンス・レジデンス投資法人	2	632	51	17,635
アクティビア・プロパティーズ投資法人	109	49,273	159	83,900
GLP投資法人	407	52,807	907	125,725
日本プロロジスリート投資法人	8	1,964	176	50,503
イオンリート投資法人	11	1,499	248	35,271
国 ヒューリックリート投資法人	351	59,935	301	56,311
日本リート投資法人	80	24,099	21	6,968
積水ハウス・リート投資法人	475	31,607	653	62,350
ケネディクス商業リート投資法人	128	33,124	91	23,306
野村不動産マスターファンド投資法人	659	92,941	688	127,166
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	71	27,917	261	123,555
森トラスト・ホテルリート投資法人	495	58,389	319	43,298
ザイマックス・リート投資法人	601	75,587	484	63,978
伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人	1,200	128,322	1,003	117,679
日本ビルファンド投資法人	20	14,468	93	74,388
内 ジャパンリアルエステイト投資法人	37	24,236	105	76,657
日本リートファンド投資法人	622	113,290	688	120,416
オリックス不動産投資法人	378	50,721	127	29,912
日本プライムリアルティ投資法人	138	41,628	58	27,648
東急リアル・エステート投資法人	180	25,144	3	414
グローバル・ワン不動産投資法人	275	24,876	—	—
ユナイテッド・アーバン投資法人	472	75,631	323	61,694
森トラスト総合リート投資法人	450	77,783	351	66,871
フロンティア不動産投資法人	167	71,502	176	68,644
日本ロジスティクスファンド投資法人	316	84,394	271	73,068
福岡リート投資法人	278	36,305	250	33,115
大和ハウスリート投資法人	110	28,998	333	91,751
ジャパン・ホテル・リート投資法人	2,408	161,971	872	66,424
合 計	11,910	1,638,883	11,341	2,061,192

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年5月22日～2020年5月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年5月21日現在)

## 国内投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	口 数	評 価 額	比 率
				千円	%
SOSILA物流リート投資法人	—	—	197	25,649	1.8
MCUBS MIDCITY	243	394	394	30,732	2.1
森ヒルズリート投資法人	741	479	479	67,060	4.7
産業ファンド投資法人	953	—	—	—	—
アドバンス・レジデンス投資法人	49	—	—	—	—
アクティビア・プロパティーズ投資法人	298	248	248	89,652	6.2
GLP投資法人	953	453	453	63,420	4.4
日本プロロジスリート投資法人	196	28	28	8,974	0.6
イオンリート投資法人	237	—	—	—	—
ヒューリックリート投資法人	556	606	606	75,568	5.3
日本リート投資法人	—	59	59	20,414	1.4
積水ハウス・リート投資法人	629	451	451	28,593	2.0
ケネディクス商業リート投資法人	100	137	137	26,454	1.8
野村不動産マスターファンド投資法人	905	876	876	104,244	7.2
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	230	40	40	18,160	1.3
森トラスト・ホテルリート投資法人	604	780	780	74,256	5.2
ザイマックス・リート投資法人	499	616	616	58,212	4.0
伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人	—	197	197	25,393	1.8
日本ビルファンド投資法人	158	85	85	51,935	3.6
ジャパンリアルエステイト投資法人	180	112	112	60,816	4.2
日本リテールファンド投資法人	472	406	406	54,160	3.8
オリックス不動産投資法人	123	374	374	51,911	3.6
日本プライムリアルティ投資法人	58	138	138	41,814	2.9
東急リアル・エステート投資法人	—	177	177	24,319	1.7
グローバル・ワン不動産投資法人	—	275	275	25,740	1.8
ユナイテッド・アーバン投資法人	422	571	571	64,180	4.5
森トラスト総合リート投資法人	460	559	559	69,930	4.9
フロンティア不動産投資法人	192	183	183	59,475	4.1
日本ロジスティクスファンド投資法人	72	117	117	33,579	2.3
福岡リート投資法人	90	118	118	14,455	1.0
大和ハウスリート投資法人	420	197	197	51,574	3.6
ジャパン・ホテル・リート投資法人	666	2,202	2,202	86,868	6.0
合 計	口 数 ・ 金 額	10,506	11,075	1,407,543	
	銘 柄 数 < 比 率 >	27	29	< 97.8% >	

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2020年5月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	1,407,543	97.8
コール・ローン等、その他	31,038	2.2
投資信託財産総額	1,438,581	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年5月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,438,581,374
コール・ローン等	22,523,812
投資証券(評価額)	1,407,543,200
未収配当金	8,514,362
(B) 負債	64
未払利息	64
(C) 純資産総額(A-B)	1,438,581,310
元本	727,692,343
次期繰越損益金	710,888,967
(D) 受益権総口数	727,692,343口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,769円

(注1) 信託財産に係る期首元本額906,908,226円、期中追加設定元本額265,228,462円、期中一部解約元本額444,444,345円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

SNAM絶対収益ターゲットファンド(適格機関投資家専用) 292,899,785円

損保ジャパン・グローバルREITファンド(毎月分配型) 422,532,280円

SOMPO Jリートファンド 12,260,278円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.9769円

## ○損益の状況 (2019年5月22日~2020年5月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	77,384,974
受取配当金	77,401,103
支払利息	△ 16,129
(B) 有価証券売買損益	△ 191,790,065
売買益	205,422,374
売買損	△ 397,212,439
(C) 保管費用等	△ 5,096
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 114,410,187
(E) 前期繰越損益金	1,154,715,991
(F) 追加信託差損益金	348,677,018
(G) 解約差損益金	△ 678,093,855
(H) 計(D+E+F+G)	710,888,967
次期繰越損益金(H)	710,888,967

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

・2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました(2020年4月1日)。